

日 薬 情 発 第 135 号
令 和 7 年 11 月 11 日

都道府県薬剤師会 会長 殿

日 本 薬 剤 師 会
会 長 岩 月 進
(会 長 印 省 略)

脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・
生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究
へのご協力をお願いについて

平素より、本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

今般、日本脳卒中学会から、別添のとおり、重視している指標、急性期からの
必要な情報、不足していると感じる情報、多職種と供したい情報について、アン
ケート調査を実施する旨の連絡がありましたのでお知らせいたします。

本調査は、多職種間での情報共有、地域での情報共有を徹底し、再発・寝たき
り・フレイルを予防するために、多職種協働で展開する疾患管理プログラムの開
発を目指すことを目的として実施されるものです。

会務ご多用のところ誠に恐れ入りますが、貴会会員にご周知いただき、アンケ
ート調査へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

アンケート回答URL：<https://redcap.jichi.ac.jp/rksc/surveys/?s=7F9E4AX8MDTJYL4W>

回答期限：2025年12月12日（金）

公益社団法人日本薬剤師会御中
会長 岩月進先生御侍史

令和7年10月24日
日本脳卒中学会理事長

脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究代表者
藤本茂

謹啓

平素より大変お世話になります。

また、日本脳卒中医療ケア従事者連合の活動でもご高配いただき感謝申し上げます。

現在厚労科研費研究、脳卒中学会のプロジェクトとして、脳卒中患者のための疾患管理プログラムについての研究活動を展開しております。

脳卒中患者のための地域での情報共有のツールとして、脳卒中地域連携パスや各職種独自のフォームが活用されています。

まず、47都道府県で使われている脳卒中地域連携パスについて調査したところ、ある程度地域共通のパスは存在しているものの、多職種協働やフィードバックの面で課題が大きいことがわかりました。

そこで、多職種間での情報共有、地域での情報共有を徹底し、再発・寝たきり・フレイルを予防するために、多職種協働で展開する疾患管理プログラムの開発を目指すこととしております。

プログラムでは、患者さんが急性期、回復期、維持期病院、施設、在宅のどこにいても、その時の担当の医療従事者が必要な情報を共有でき、フィードバックが可能であることを重視します。

将来的には多職種が共同で利用できる疾患管理プログラムアプリの開発につなげたいと考えております。

そこで、回復期、維持期病院、地域の薬局、在宅（訪問）で活躍されている、各地域の薬剤師さんに、重視している指標、急性期からの必要な情報、不足していると感じる情報、多職種と供したい情報について、WEB アンケート方式で調査をさせていただきたく存じます。具体的には、各地域の回復期、維持期病院、地域の薬局、在宅（訪問）で活躍されているできるだけ多くの薬剤師の方々にご回答いただき、集計できればと思っています。

アンケート内容について、内容をご確認いただき、修正点などご指摘いただければ幸いです。

また、アンケートへのご回答について、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

謹白

回復期・維持期 (生活期) 医療機関および地域包括ケアに関わる多職種への調査フォーム

AAA
田 田

アンケートの指示を表示

4の1ページ

0 現在の職場について

回復期医療機関

維持期医療機関

地域の薬局

福祉施設，保健所，または訪問・介護サービス

1 脳卒中地域連携パスの内容を確認することはありますか。

はい

いいえ

2 急性期病院または回復期病院からの情報提供 (すべての職種を含みます) で確認できている情報をすべて選んでください。

前医 (入院中) の指導内容

認知機能

患者/家族の理解度・アドヒアランス

アレルギー歴，副反応

目標塩分摂取量

目標総カロリー

脂質異常症対策・指導内容

耐糖能異常対策・指導内容

フレイル対策・指導内容

目標血圧

目標LDL値

目標TG値

目標HbA1c値

直近のクレアチニン，クレアチニンクリアランス，eGFR

直近の血圧の値

直近のLDLの値

直近のTGの値

	直近のHbA1cの値
	直近の肝機能 (AST, ALT, γGPTなど)
	直近の血算 (Hb, 血小板など)
	直近のPT-INR値
	心房細動の有無
	食事，喫煙，飲酒，運動などの生活習慣
	体重，体重の変化
	嚥下障害の有無，食事形態
	日常生活機能評価 (modified Rankin Scale, Barthel Index, Functional Independence Measureなどを含む)
	介護保険・福祉サービスの状況
	薬剤が変更になった場合の理由
	今後の病態管理について

次のページ >>

回復期・維持期 (生活期) 医療機関および地域包括ケアに関わる多職種への調査フォーム

AAA
田 田

4の2ページ

3 担当患者に指導している内容をすべて選んでください。

抗血栓薬について (出血リスクも含めて)
抗血栓薬の見分け方 (複数の内服薬の中からどれが抗血栓薬かを識別する方法)
抗てんかん薬について
降圧薬について
脂質異常治療薬について
糖尿病治療薬について
内服薬の用量について
副作用・副反応について
併用禁忌薬について
目標血圧
目標LDL
目標TG値
目標HbA1c値
飲み忘れ対策, 飲み忘れた時の対処法
生活習慣改善項目
脳卒中予防10箇条

4 急性期・回復期からの情報 (すべての職種を含みます) で、不足していると考えられるものをすべて選んでください。選択肢にない項目は直接記入してください。

前医 (入院中) の指導内容
認知機能
患者/家族の理解度・アドヒアランス
アレルギー歴, 副反応
目標塩分摂取量
目標総カロリー
脂質異常症対策・指導内容
耐糖能異常対策・指導内容

フレイル対策・指導内容
目標血圧
目標LDL値
目標TG値
目標HbA1c値
直近のクレアチニン，クレアチニンクリアランス，eGFR
直近の血圧の値
直近のLDLの値
直近のTGの値
直近のHbA1cの値
直近の肝機能 (AST, ALT, γGPTなど)
直近の血算 (Hb, 血小板など)
直近のPT-INR値
心房細動の有無
食事，喫煙，飲酒，運動などの生活習慣
体重，体重の変化
嚥下障害の有無，食事形態
日常生活機能評価 (modified Rankin Scale, Barthel Index, Functional Independence Measureなどを含む)
介護保険・福祉サービスの状況
薬剤が変更になった場合の理由
今後の病態管理について
その他

<<前のページ

次のページ >>

回復期・維持期 (生活期) 医療機関および地域包括ケアに関わる多職種への調査フォーム

AAA
田 田

4の3ページ

5 患者さんの服薬指導の際に重視している、または参考にしたいのはどれですか？すべて選んでください。

アドヒアランス，残薬数
併用禁忌薬
副反応
アレルギー歴
ポリファーマシー
患者・家族の理解度
出血の有無
併用薬
血圧値の推移
LDLコレステロール値の推移
TG値の推移
HbA1c値の推移
腎機能の推移
体重の推移
認知機能
日常生活機能評価 (modified Rankin Scale, Barthel Index, Functional Independence Measureなどを含む)
嚥下障害の有無，食事形態
その他

6 他の職種のサマリーや情報提供書で，参考にするものをすべて選んでください。

薬剤師
医師
看護師
理学療法士
作業療法士
言語聴覚士

管理栄養士・栄養士

医療ソーシャルワーカー

<<前のページ

次のページ>>

回復期・維持期 (生活期) 医療機関および地域包括ケアに関わる多職種への調査フォーム

AAA
田 田

4の4ページ

7 他の職種と共有したい (してほしい) と考える内容を すべて 選んでください。

服薬指導の内容

併用薬

副作用の自覚症状・兆候

ポリファーマシー

患者・家族の理解度

アドヒアランス

飲み忘れ対策，飲み忘れた時の対処法

その他

8 申し送り時に作成するツールを すべて選んでください。

地域連携パスへの記載

服薬指導内容に関する申し送り書式

その他

9 地域全体で疾患管理プログラムを策定して情報共有するための課題についてご意見を記載してください。

<<前のページ

提出